

生き抜く力を育むためのメディア教育の在り方

メディア教育研究部会

1 研究主題について

コンピュータをはじめとするメディア機器が教育現場に導入されて以来、本部会では、さまざまなメディアの活用を通して教職員の指導力向上を図るとともに、主体的に学習する生徒の育成を図りたいと考え、研究を継続してきた。特に、近年は、夏季研修会において、コンピュータを中心とする多様なシステムやタブレットに代表される情報機器に関する基礎知識や基本操作、授業における具体的な活用方法や情報モラルの育成に関する研修を推進してきた。今後も各種機関の研修情報の提供や研修内容の充実に努め、メディア教育の在り方を探っていこうと考える。

2 研究の概要及び大会内容

(1) NHK杯全国中学校放送コンテスト

- ① 香川県予選 7月25日
NHK高松放送局(CD・DVD審査)
 - 参加数(参加12校)
 - ・アナウンス部門 26作品
 - ・朗読部門 33作品
 - ・ラジオ番組 4作品
 - ・テレビ番組 2作品
- ② 全国大会予選 8月2日、3日
(CD・DVD審査非公開)
 - 香川県予選通過(参加6校)
 - ・アナウンス部門 4作品
 - ・朗読部門 6作品
 - ・ラジオ番組部門 3作品
 - ・テレビ番組部門 1作品
- ③ 全国大会本選 8月20日
千代田放送会館2Fホール
(CD・DVD審査公開)
 - 朗読部門 優秀賞 河田莉捺
(丸亀市立南中学校)

(2) 夏季研修会

- ① 日時 8月21日(木) 9:00~12:00
- ② 場所 香川県社会福祉センター



③ 研修内容

- ア 実践研究発表(高松支部)
 - ・放送教育四国大会発表報告
- イ 講話及び実技(タブレット端末)
 - ・協働学習ツールを用いた意見交換操作体験
 - ・指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書体験
 - ・授業支援システムの機能と現状
 - ・県内のタブレット導入の現状と課題

3 成果と課題

学校を取り巻くメディア教育の環境が日々進歩し、新しい通信システムや通信網が身の回りに広まっている。夏季研修会では、タブレット端末の実習体験をすることにより、メディア機器を活用した新しい学習シーンを体験した。メディア活用の理想型をイメージしながら、教育効果の上がる授業を構築し、学校教育での利用の可能性を求めていきたい。次年度は、香中研研究大会の年であり、各支部の更なる研修の充実に努めていきたい。